



台南市美術館は2019年1月に正式に開館した台湾初の地方行政法人美術館です。当館の設立は主に台南の数百年にわたる歴史の中で蓄積された豊かな文化財に応えるもので、地元芸術の分類と解釈を通じて文化的記憶を活性化し、市民の美学の素養と芸術への参加を育成するためのものです。

当館の2棟は台南市の文化核心エリアに位置し、総面積は約9,917㎡あります。建物本体はプリツカー賞を受賞した坂茂建築設計事務所と、石昭永建築士とのコラボにより設計されました。新旧の建物の活性化と再建により、地元である台南と国際的な芸術文化が融合する拠点となっています。



### 1号館

台南市中西区の南門路と友愛街との交差点に位置し、新しい建物と古い建物が混在しています。この建物は元台南警察署で、1931年に落成しました。台南州(当時)の梅澤捨次郎技師の設計による「アール・デコ様式」の建物で、主要構造は鉄筋コンクリート、両翼は赤煉瓦造りで、外壁は「筋面タイル」を主な建材として用いており、このタイルの色彩が1号館の洗練された風格を醸し出しています。台湾では数少ない、保存状態の良い警察署の建物で、1998年に台南市の史跡に指定されました。多面的な機能をもつ展示エリアにするために、メインの建物の後方に地上3階、地下1階の建物を増築しました。中央の廊下でつながった新旧の建物は、来館者にそのユニークさを感じさせます。1号館の展示スペースは約1,553㎡で、10室の展示室、収蔵庫、美術科学研究センター、芸術工房、カフェを備えています。



### 2号館

台南市中西区府前路と忠義路との交差点に位置し、もともとは駐車場でした。この建物は当初の地下駐車場の建築構造を維持・強化し、その上に5階建ての建物を建設したものです。2号館は、台南の特徴である鳳凰花(鳳凰木の花)をモチーフにした五角形の建物で、互い違いに配置した展示室を垂直に積み重ねることにより、自由に柔軟な観覧の動線が生まれています。半屋外のテラスは階段を利用して休憩スペースと活動スペースを作り出しています。大きな五角形の屋根は台南の気候に適応し、自然の日陰効果をシミュレートするために、フラクタル構造の日除けになっています。科学的研究とデータ計算によって幾何学的形状を使用したフラクタル構造を作成し、建築空間のグリーンエネルギーを調整しています。太陽がさまざまな角度から屋根を照らすことによって、木漏れ日のような、美しい光と影が現れます。2号館の展示スペースは約2,700㎡で、16室の展示室、収蔵庫、多目的ホール、子ども芸術センター、クリエイティブ工房、図書資源センター、記念品販売所、カフェ、景観を楽しむレストラン、地下有料駐車場を備えています。



### 国際交流の芸術プラットフォーム

当館は行政法人の運営で、産学連携や芸術の友を募集するとともに、芸術と企業との連携によって、豊富な芸術文化資源を収集し、シティ文化の素養の向上を目指しています。芸術資源の統合と拡大を強化するために、当館は分野を超えた資源の開発とマーケティングを重視し、地元と国際間の対話に目を向けています。異業種とのコラボや芸術トレンドとのインタラクションの可能性を強化すると同時に、当館の空間と学術資源を有効に活用し、芸術の創造、教育、研究における多様な交流を促進しています。さらに、地元の芸術文化の発展を先導し、シティ空間と芸術生態との調和のある関係を確立しています。

### 近現代美術のバランスのとれた発展

重要な美術作品を保存し、地元の芸術発展の流れを構築するために、台南と台湾各地の芸術家の作品や文書の収集に取り組んでいます。近現代と当代の完全な芸術データベースを確立し、同時に地元と各地の芸術家をサポートします。展示、研究、出版、芸術教育の普及などを通じて、台湾美術の奥底に対する多様な解釈を深めています。

### 全民の美術館

当館はシティ文化と芸術クリエイティブを推進する役割を担っています。さらに、市民の生活美学と美術館との関係を強化し、あらゆる年齢層に芸術学習の機会を提供し、全民の美術館になることを目標としています。そのため、子ども芸術センターとクリエイティブ工房を設置し、館内での芸術イベントを中心に、美的感覚と体験の拠点を組み立てます。公共資源の拡充とスペースの有効活用を図り、多様で分野を超えた芸術実践プロジェクトを開発しています。さらに、芸術教育の範囲を拡大し、学校や遠隔地での芸術文化の参加を促進しながら、美学教育と芸術学習体験を普及しています。





利用案内	
開館時間	火曜日～金曜日と日曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～21:00
休館日	月曜日（祝休日の場合は通常通り開館） 旧暦の大晦日と旧正月初日 その他の休館日は当館の公示によります。
入館料	一般 200元 団体 150元（10人以上の団体） 優待 100元 65歳以上の高齢者、台南市の大学に在籍する学生、台南市以外の小・中・高校生（外国籍を含む）、台南市民
入場無料	7歳以下の幼児、障害者手帳をお持ちの方と同伴者1名、台南市の低所得世帯の証明書をお持ちの方、台南市の高等学校以下の生徒及び65歳以上の台南市民、台湾交通部観光局発行の観光ガイド証明書をお持ちの方、中華民国博物館学会及び国際博物館協会会員。その他の割引については公式サイトをご確認ください。
定時ガイド	1号館15:30、2号館11:00*、14:00      *は休日のみ
団体ガイド	10名以上の団体は7日前までに当館公式サイトでご予約ください。
駐車場案内	1号館に有料駐車場を備えています。 （利用時間：土曜日10:00-21:00、日曜日10:00-18:00、祝日は開館時間に準じます） 2号館には24時間利用可能な有料地下駐車場を備えています。
交通アクセス	

車でお越しになる場合  
台南以南から：国道1号→台南仁徳IC→東門路→府前路（2号館）→南門路（1号館）  
台南以北から：国道1号→台南大湾IC→復興路→小東路→北門路→府前路（2号館）→南門路（1号館）

台湾高鉄をご利用の場合  
1. 高鉄台南駅から高鉄H31シャトルバスで建興中学校（孔子廟）降車  
2. 高鉄台南駅ターミナルにある台鉄沙崙駅から台鉄台南駅まで行き、バスに乗り換えます。

市営バスをご利用の場合  
1、2、6、7、10、11、88、高南E08番、高鉄シャトルバスH31で民生緑園または孔子廟降車、徒歩約5分



1号館 70049台南市中西区南門路37号  
2号館 70041台南市中西区忠義路二段1号  
Tel: (06)221-8881 Fax: (06)223-5191  
www.tnam.museum

## 図書資源センター

2号館の4階と5階にあり、建物のフラクタル構造の屋根から入る自然光を、読書空間全体の照明として利用しています。主に国内外の芸術系の書籍や定期刊行物を所蔵し、閲覧スペースを設置して、一般の人々が研究文献を閲覧・収集できるようにしています。



## 美術科学研究センター

「貴重な文化財の保存と維持を使命とし、台湾美術の研究、発展、継承を目指す」ために、台湾の芸術史の脈絡を構築しています。文物の修復、科学的検証、美術史研究について分野を超えて統合し、それを「美術科学」という新しい分野にしています。国内の美術と文物保存のための科学的修復をする専門的な研究セクションになることが期待されています。



## 1

會  
BLOG



## 1F



## 2F

1F 展示室A GALLERY A  
カフェ CAFÉ  
スタジオ STUDIO  
芸術工房 WORKSHOP  
ガイドルーム GUIDE ROOM

2F 展示室B-J GALLERY B-J  
芸術テラス TERRACE

## 2

會  
BLOG

5F 景観を楽しむレストラン SCENIC RESTAURANT  
図書資源センター RESOURCE CENTER

4F 図書資源センター RESOURCE CENTER

事務室 OFFICE  
会議室 MEETING ROOM

3F 展示室 J-P GALLERY J-P

2F 展示室 E-I GALLERY E-I  
カフェ CAFÉ  
子ども芸術センター CHILDREN'S ART CENTER  
クリエイティブ工房 STUDIO  
記念品販売所 SHOP

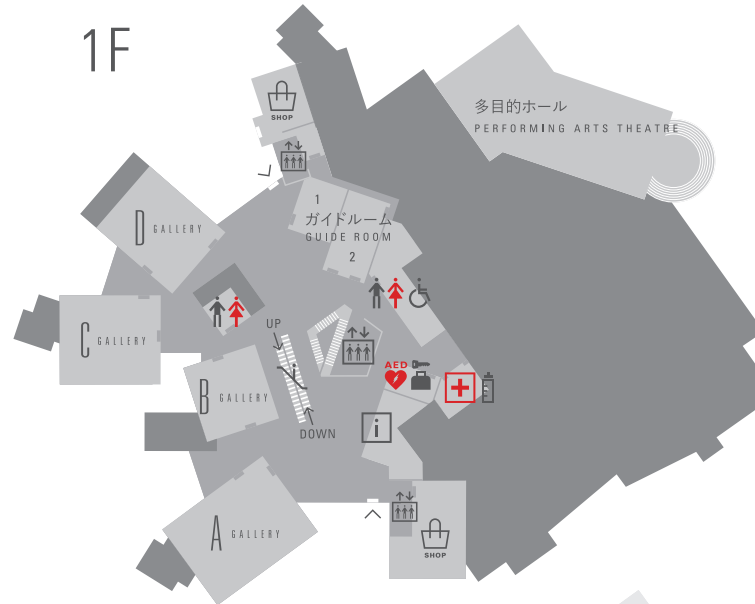
1F 展示室 A-D GALLERY A-D  
ガイドルーム GUIDE ROOM  
記念品販売所 SHOP

B1/B2F 駐車場 PARKING LOT

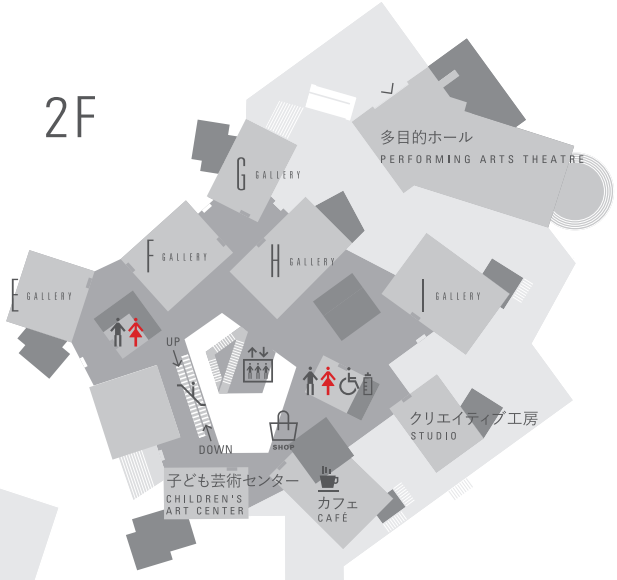
## 3F



## 1F



## 2F



インフォメーション INFORMATION  
ロッカー LOCKER  
授乳室 NURSING ROOM